

# 化学産業をサーキュラー・エコノミーに転換

## 基調講演・パネルディスカッション

2023年10月3日（火）

### ペーター ゼーベルガー 教授

マックスプランクコロイド・界面研究所「生体分子システム」（ポツダム）部門ディレクター、ベルリン自由大学教授

### 基調講演タイトル

「化学産業をサーキュラー・エコノミーに転換：化学転換センター」

### 発表要旨

化学は我々の日常生活のいたるところに存在する。また、化学産業はドイツ最大の収益部門のひとつとなっている。しかし、化学産業は化石燃料に依存しており、大量の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、有害廃棄物および廃水を発生させている。

こうした理由から、この重要な産業を前進させるためのアプローチを全面的に見直す必要がある。[化学転換センター](#)（Center for the Transformation of Chemistry、CTC）は、再生可能な原材料やリサイクルを基盤とする化学産業によって、我々の社会を循環型経済へと変革することを目指している。

関係する製品や産業は、健康、エネルギー、肥料、消費者製品など多岐にわたる。この持続可能な化学へのアプローチを確立するため、CTCは学際的なアプローチを用いて、学术界、産業界、地域社会とのパートナーシップを構築していく。科学的知識の移転は、CTCが地域の主体として推進していく。こうして、中部ドイツに新たな最先端の研究の場が誕生し、ここには同地域からだけでなく世界中から専門家が集結する。2022年9月、化学転換センター（CTC）は、ドイツ連邦教育研究省が主催するアイデアコンペティション「地域に展望をもたらす科学！」で見事受賞を果たした2つのコンセプトのうちの1つである。同コンペティションは、ドイツ連邦政府、ザクセン州およびザクセン・アンハルト州の共同イニシアチブであり、12億5000万ユーロの資金が提供されている。